

## 第 2 回 策定委員会でいただいたご意見への回答・対応について

(ご発言、提言シートから、内容で大別整理したもの)

### 1. 項番号やカッコ書きの整理、統一が必要。専門用語の注釈を入れて欲しい。

→ 2 章中心に、項番号やカッコ書きの整理、統一を行いました。また、専門用語について、ひとまず本文中に※を付して挟み込みました。最終的にはページ下部または巻末等に脚注として入れていきたいと考えます。なお、さらに注釈が必要と思われる語句がありましたら、ご指摘ください。

### 2. 市内でも市街地と山間地などの地域ごとに生活環境が異なるので、その違いを全体の中に位置付けるような視点があるといい。

→ 今回の修正では明確化できませんでした。1 章の後半、地域福祉計画の「地域」の説明をしながら、触れることとしたいと考えます。

### 3. 4 章の目標 3-5 再犯防止計画について、保護司会の意見聴取を。

→ 事務局である社会福祉協議会に依頼して、会長さんのご意見を頂戴して修正を加えました。

### 4. 全体通して、計画で掲げた目標に、どう取り組んでいくのかがあいまいではないか。

「誰が」、「具体的に」、「何を」するか、わかるような書き方のほうがいい。すべてを具体的にではなくても、重点にしたい部分の事例など示せないか。

→ 理念計画という位置づけと各分野ごとの個別計画があることから、本計画でどこまで記述できるかは、悩んだところです。

ひとまず第 4 章の「取り組み」の囲みの中に取り組みの主体を「市民・地域組織」「行政」「事業所・関係機関・団体」と分け書きにするとともに、取り組みの方向性をわかりやすい表現に修正してみました。

また本計画は福祉分野の上位計画となりますので、それぞれの分野に係る具体的な記述は今後の個別計画につなげていきたいと事務局としては考えました。

事例や重点については、4 章など本文中でも少しは触れていますが、文章の間に実際の取組みの写真などを入れ、その説明を加えるなどして伝えることを検討しています。(例:「子ども館きらら」「ボラ連の交流会」「身障協会」「介護予防」「老人クラブ」「シルバー人材センター」「学校での学び」など)

ご意見をお聞かせください。

5. 元気高齢者への支援、居場所や公共交通の配慮などの視点や学校との関係、福祉教育の推進も大事にしたい視点と考える。

→ 要介護前の高齢者福祉については、5年度に更新する「老人福祉計画」に係る部分になりますが、今回シルバー人材センターや老人クラブの現状等のデータを第2章に加えました。また、4にあるように市老連の記録写真と説明などを入れて意識喚起につなげたいと思います。

学校と福祉教育等については、教育委員会の考え方や教育大綱などがあるので、4章の基本目標1－3で福祉教育について、3－1で居場所・コミュニティスクール・インクルーシブなどの視点をプラスしました。

6. 医療に関して、かかりつけ医の考え方、飯山日赤の医師確保、北信圏域の医療体制をどうしていくのかなど、大変難しい課題と考える。また、コロナ禍であらためて飯山日赤と北信病院の感染病床や救急体制の課題なども浮き彫りになっている。地域の将来を考える時、非常に重要な課題で、どうこの計画に反映させられるか。

→ 市としても、重要な課題と考えております。本計画では4章基本目標3－3に関連部分を記載していますが、今後の施策の方向性は模索中という部分もあり、県が設置する北信圏域の医療構想調整会議において令和5年度中に将来の地域医療体制を見定めていくという現状です。市の重要な課題として位置付けつつ、県や北信圏域等の動向を注視していくことになるため、事務局としては本計画での新たな施策の具体化は控えたいと考えました。

7. 成年後見制度利用推進計画が全体の中で浮いている印象。地域福祉計画全体で相談窓口の充実ということを目指しているので、その方向に含まれる形で、4章目標3－4の中への位置付けでいいのではないかな。

→ データもあり、若干ボリュームが大きめですが、今回そのようにしました。

8. 高齢者の冬季の暮らしで、退院後の在宅復帰や住宅の除排雪の問題など、困りごとが多いのが実情。地域での見守りや民生委員の声掛け、ボランティアの達人の存在など、ひとつひとつが実はとても大事。

→ 本当に大事な視点なので、各目標の【施策の方向】や「取り組み」の中に反映させています。冬季の暮らしは、特に当市の重要テーマです。

9. 複合化・複雑化した課題ということだが、本当に現実がそうになっている。コロナ禍でつながりの希薄化が進んだ中、なおのこと地域包括ケアシステムをコミュニティの視点で構築していく必要がある。地域や福祉の現場の声をしっかり受け止めて計画に反映を。

→ 市役所の担当分野の現状認識や、民生委員アンケートの声、地域包括支援センターや福祉事業所の日頃の課題把握、委員各位のお話を参考にして加筆修正しましたので、ご検討をお願いいたします。